



県政報告 Vol.23

2023.11月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.23」をお届けします。この時期は学校・幼稚園・保育園などの運動会に向う機会が増えます。先日も母校小高原小学校の運動会に伺いました。小高原小学校の校訓は「本気・元気・正直」です。選挙のあった今年ほど、この言葉の持つ意味を改めて深く感じた時はありません。小学校の時に学んだ教えが、還暦を過ぎた今でも自分への戒めとして役に立っています。

今回の県政報告は9月定例愛知県議会の内容が中心です。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



9.23 土祝 ▶ ゲノム編集によって巨大化した真鯛やトラフグ 本当に大丈夫？

日 本消費者連盟やOKシードプロジェクトなどの呼びかけで開催された『ゲノム編集魚を考える市民集会 in 京都』に参加しました。300名ほどの会場は満席です。



第1部の基調講演は安田節子氏による「ゲノム編集食品は未来の食卓をどう変えるのか」、第2部は天笠啓祐氏と河田昌東氏によるトークセッション「ゲノム編集魚の何が問題か」、そして第3部は印鑰智哉氏・松平尚也氏・NOCO氏によるパネルディスカッション「ふるさと納税返礼品にゲノム編集トラフグ」、質疑応答の後、最後に漁業者によるアピール、ゲノム編集トマトに関するアピール、「ストップゲノム編集」京都宣言を満場一致で採択して終了しました。

筋肉生産抑制遺伝子を破壊するゲノム編集によってサイズが大きくなり肉厚となった真鯛、食欲抑制ホルモン「レプチン」受容体遺伝子を破壊することで、満足感が失われ餌を食べ続けることになり成長が早くなったトラフグなど、ゲノム編集は「魚」においても既に生産がされており、トラフグにおいては京都府宮津市においてふるさと納税の返礼品にも採用されています。



このようにゲノム編集魚は私たちの身近な食卓に及ぼうとしていますが、そのことを表示する義務はないのです。私はこの点は大きな問題だと思っています。今後も「農産物」だけではなく「魚」についてもアンテナを高く張って「食の安全を守る」という立場で監視して行きたいと思っています。

9.27 水 ▶ 9月定例愛知県議会が開会しました

9 月定例愛知県議会が今日から10月19日(木)までの23日間の会期で開会しました。議案の中から少し紹介しますと・・・

条例議案の中には「動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正案」があります。これは、犬又は猫の多頭飼養の状況を把握し、必要に応じて飼い主への指導・助言を行えるよう、犬及び猫を10頭以上飼養し又は保管するものは知事に届け出なければならないとするものです。

また、その他の議案の中には、名古屋岡崎線における境川橋上部工事に対する工事請負契約の議案もあります。契約金額は14億5970万円、工期は852日、境川には既に橋

脚が出来ていますからその上に桁橋を設置する工事です。

そして主な補正予算は次のとおりです。

- 「6月2日の大雨で被災した農業者の支援」として、被災した農業者が営農を継続できるよう、農業用機械の修繕等に必要な経費や、種苗・肥料・農薬等の農業資材購入に必要な経費の一部を支援します。但しいずれの支援も、市町村において県と同額以上の補助があることを条件としています
- 県文化施設(愛知芸術文化センター・愛知県陶磁美術館)の活性化を図るための基本計画の策定
- 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの3年連続開催

に向けた取組

- 愛知の「休み方改革」を全国に発信し、日本全体の観光需要平準化の促進を図る取組
- 農業大学校、高等技術専門校、県立高等学校における実習設備の整備
- 信号灯器のLED化など、交通死亡事故抑止に向けた交通安全対策の推進

上記に加え、道路・河川等、公共事業における国からの内示増への対応等を含む、合計158億2,201万円が計上されています。



10.2 月 代表質問 「校内フリースクール」の設置について

9 月定例愛知県議会は代表質問で、自民党・あいち民主共に幹事長が登壇しました。代表質問では警察に関することは県警本部長が自席から、教育委員会に関することは教育長が自席から答弁しますが、そのほか大半のことは知事自らが登壇して答弁します。

ここでは教育長が答弁した「不登校対策」の中でも特に昨今その必要性が指摘されている「校内フリースクール」の設置について紹介します…

- ◎不登校の数は、近年、特に中学校で急増しており、担任や支援員が配置され、学びの環境が整った「校内フリースクール」の設置を促進することは、子供の学びの場を確保するために、大変重要であると認識している
- ◎県内では一部の市で独自に「校内フリースクール」の設置を進めているが、県全体への普及は、これからという状況

- ◎そこで県教育委員会では、今年度から尾張旭市立旭中学校と幸田町立北部中学校の2校に「校内フリースクール」を設置し、その効果を検証するモデル事業を開始している
- ◎この2校では、9月15日現在、あわせて19人の生徒が「校内フリースクール」を利用しており、担任と支援員を配置して生徒の指導や支援に当たっている
- ◎新たな居場所ができたことによって、教室に居づらい生徒が安心感をもって自分のペースで学習に取り組んだり、長期間自宅から出ることができなかった生徒が登校できるようになった
- ◎今後は「校内フリースクール」の効果を県内の市町村に向けて発信し、全ての公立中学校において、不登校の子供たちの学びの場が確保できるよう取り組んでいく



10.11 水 委員会で2項目の一般質問と、有機フッ素化合物問題のその後

昨 日と今日、私が所属する県民環境委員会が開催され、一般質問において2つの項目で質問をしました。答弁の要旨を紹介します…

①日本語学習支援基金について



日本語学習支援基金は2026年で終了し、その後は基金によらない支援体制を整備することで各経済団体と合意している。具体的には「愛知県地域日本語教育推進補助金」の活用促進や、経済団体等と連携した企業ボランティア派遣の取組拡大など。

地域日本語教室の運営団体から物価高騰の影響で資金のやりくりが苦慮しているとの声も届いておりますので、地域の日本語教室が継続して運営できるよう、物価高騰による助成額の増額について、前向きに検討する。

②県の文化財指定について

愛知県文化財保護審議会については、毎年度2回ずつ開催しており、ここ数年は7月と1月に開催している。委員は20名で、美術工芸、建造物など各分野に精通した学識経験者の方々に委嘱している。審議会には分野ごとに6つの部会があり、審議会当日は、まずそれぞれの部会で諮問案件を審議していただき、その結果をもとに全体会で議論いただき、答申をいただいている。

審議会では、諮問された文化財に関する調査結果を踏まえ、歴史上、芸術上、学術上の観点から重要性を判断し、指定にふさわしいかを審議いただいている。1回の答申件数は、ここ数回、平均して3・4件で、直近の7月の審議会でも、3件の文化財について「指定を可とする」答申をいただいたところである。

諮問する案件は、審議会の委員と事務局である文化財室で調査を行って決めている。県指定文化財は、原則として、市町村の指定文化財が対象となる。祭などの無形民俗文化財は、その起源や変遷のほか、保存会の組織状況・継承の体制などを調査している。

また、前回の「県政報告Vol. 22」においてトップページに掲載していたPFAS(有機フッ素化合物)について、その後の調査に関する質問がありました。刈谷市に関する部分もありますので報告します・・・

【質問】前回の委員会以降、明らかになった暫定指針値を超過した事例はあるか？

【答弁】以前お伝えした事例以外では、公共用水域では阿久比川の半田大橋、地下水では刈谷市内で暫定指針値50ng/Lを超えるPFOS及びPFOAが検出されており、それぞれ98ng/L、57ng/Lとなっております。これらの結果は、9月末に2022年度の公共用水域及び地下

水の要監視項目の調査結果としてWebで公開したところ
です。

なお、刈谷市内の地点の周辺の井戸所有者に対しては、ばく露防止のため、刈谷市と県が連携してチラシを配布し、飲用を控えるよう注意喚起を行ったことです。今後もこの問題については注意をして行く必要があります。



▲県政報告Vol. 22でも掲載しました

10.16 月 一般会計・特別会計決算委員会の所属となりました

一般会計・特別会計決算特別委員会が開催されました。

愛知県議会の場合、決算審査については「一般会計・特別会計」の委員会と「公営企業会計」の委員会の2つが設置され、今回私は一般会計・特別会計の委員会の所属となりました。

今日は最初の委員会と言うことで、議員・理事者共に自己紹介を行った後、決算の概要説明が総務局長より、審査

意見の概要説明が代表監査委員から行われました。9月定例会は今週の木曜日(19日)で閉会となりますので、今後は閉会中審査として5回の委員会が開かれ、次の12月定例会で議案として上程されます。



10.19 木 「給食の無償化」と「給食のオーガニック化」 諦めずに訴えて行きます

9 月定例愛知県議会は本日が最終日。

今議会に提出された請願の内、『愛知県に「学校給食無償化補助金」の創設を求める請願』について今回私は紹介議員となりました。先の県議会議員選挙の際にも公約として「給食費の無償化」「オーガニック給食の推進」を掲げていましたから、それに沿った対応です。請願内容は・・・

1. 愛知県の小中学校、特別支援学校の児童・生徒(の保護者)に対して、給食費を補助する「学校給食無償化補助金」を創設すること
2. 学校給食無償化に国が責任を持つよう働きかけること

というものです。愛知県内でも既に多くの自治体が国の地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用して、給食費の無償化を実施しています。しかしこの交付金がなくなったら、それぞれの自治体はどうするのか・・・特に無償化する以前より食材費が高騰していますから、給食費を値上げするか、給食の質を下げるか、市の一般会計で手当するか。非常に難しい選択を迫られます。このような時こそ、子どもたちに給食を通じた豊

弱い立場の方に優しい政治 神谷まさひろの政治姿勢と決意!

- 1 私たち大人の使命は子どもたちに良い社会を残すこと
- 2 県政や議会、自らの活動内容を積極的に発信
(県政報告レポート・ホームページ・Facebook・街頭など)
- 3 障害者・高齢者・子どもなど弱い立場の方に優しい政治
 - 給食費の無料化
 - 有機農業、オーガニック給食の推進
 - 18歳年度末までの医療費無料化(通称・入院共)
 - 少人数学級、少人数授業の拡充
 - 重度重複障害者の介護負担の軽減、通所施設への支援の充実
 - ヤングケアラーへの支援
 - 障害者の就労支援
 - 私学助成
 - 認知症対策
 - 不登校を支援
 - 大学進学支援
 - 子ども食育

▲選挙の時に約束しました



かな教育を保障するために愛知県が力を発揮する時だと思っております。

但し、財政力の差によって給食費の保護者負担に差が生ずることのないように、本来は国が責任を持って無償化をすべきであるとも思っています。

本日その採決も行われたのですが、賛成少数で残念ながら不採択となってしまいました。今後も「給食の無償化」と同時に「給食のオーガニック化」も諦めずにあらゆる場面で訴えて行く覚悟です。

10.20 金 愛知県警から報告がありました

運

転免許の更新が予約制になります。

令和6年3月19日以降の運転免許更新は完全予約制になります。そのための予約受付開始は令和6年1月15日からで、Webでの予約または予約受付ダイヤルによる電話予約です。

現在、警察署等における運転免許の更新事務等の来庁者は、正午過ぎの時間帯に集中しており、慢性的な混雑や周辺の交通渋滞が発生している状況にあります。免許更新予約制を導入することで、特定時間への来場者を抑制して平準化を図り、警察署等における混雑緩和や周辺の交通渋滞解消が導入の目的です。

今回の制度改正は「予約も出来ますよ」といったことでは

なくて原則予約制なのです。尚、70歳以上の高齢者講習受講者の方は自動車学校との予約があるため、今回の予約制度の対象とはなりません。

また、今回の報告にはなかったのですが、現在、運転免許証更新手数料を[愛知県収入証紙]で納めているものを、来年4月からは収入証紙との併用で、キャッシュレス決済も導入されることが決まっています。

警察行政の市民サービスにおいてもゆっくりですが着実にICT化が進んでいます。



10.23 月 県立中高一貫校の概要が教育委員会より本日発表されました

2

025年4月に開校予定の県立中高一貫校の概要が教育委員会より本日発表されました。地元刈谷高校についてご報告いたします。

名称=愛知県立刈谷高等学校附属中学校

学校が目指す教育(刈谷高等学校・附属中学校)

中学校では、課題解決的な学習過程を重視した探究的な学びに取り組み、高校での自然科学と人文・社会科学の双方のアプローチから課題解決する文理融合型探究活動につなげて、中高6年間を通して、「私たちの実現したい未来」に向けて、高い志と責任感をもち、世界を視野に入れて活躍し、時代を創ることのできる人材を育成します。

○入学者選抜の実施日程(2段階選抜を行う)

1次選抜(※適性検査)

- ・実施日: 2025年1月11日(土)
- ・合格発表日: 2025年1月15日(水)又は1月16日(木)
- 1次選抜合格者は募集人員の2倍(160人)程度

2次選抜(面接)

- ・実施日: 2025年1月18日(土)
- ・合格発表日: 2025年1月23日(木)又は1月24日(金)

※適性検査

中高一貫校での探究的な学びに必要な資質・能力を測

るための検査。小学校学習指導要領の範囲内で複数の教科を組み合わせた内容とし、思考力・判断力・表現力等を測る。適性検査の見本を12月に公表します



2次に合格し入学の意志を書面で示した者は、その後に行われる私学等の中学は受験できません。

○児童・保護者説明会

1家庭2名まで
「児童1名(小学5年生)+保護者1名」又は「保護者2名」

□11月11日(土)午前10～11時30まで
安城市民会館サルビアホール
(安城市桜町18-28) 1,060名

□11月18日(土)午前10～11時30まで
刈谷市総合文化センター大ホール
(刈谷市若松町2-104) 1,400名

